

### 第三部 労働黨の本質、任務 並にその發展方向

#### (A) 労働黨の情勢並に任務

##### 一、労働黨の本質

- (イ) 労働黨は、大衆的指導方針の下に、労働者と農民とを不平等に集約する政治的運動を、そして、遂行することによって、労働者と農民との間に政治的連帯を形成することを、自己の中心任務としてゐるといふのが、労働黨である。
- (ロ) 力が強くなるにつれて、人口の過半が農民によつて構成されてゐる國に於ては、労働者階級は、自己の最も危険に瀕する同盟者としての農民大衆を鞏固なるプロットを形成することが絶対に必要である。
- (ハ) コミンタンの「日本問題」に關するテーゼは、我黨に於て資本家地主の反動的プロットを對抗するために、労働者と農民の無産的プロットを形成することが如何に重要であるかに歸して、次の如く述べてゐる。

「日本のXに於ける推進力は、プロレタリアートと農民と無産的民衆とである。然し彼等、プロレタリアートと農民とが、單獨でも進んでゐる。既成階級と、農民とを結合せしめ、」

- 「日本に於ては、既成階級と、農民とを結合せしめ、」
- (ニ) だが、労働者と農民との政治的連帯に關するものは、然すも、労働黨の政策を知らねばならぬと限られてゐるわけでもない。吾らコミンタンの第六回大會に於て決定された「農民地、半植民地に於けるX-X運動」に關するテーゼの中には、労働黨に關する次の如き重要な見解が示されてゐる。
- (ウ) 「……特別な「労働黨」は現時に於ては、如何に政治的連帯をもちんことがあらうとも、それは如何にも容易に通常の小ブルジョア階級に陳化する。従つて抑がる政黨を組織することは得難くはない……」と。コミンタンのテーゼは、この労働黨の論議に關して、最も理想的な労働者農民のプロット組織としては、所謂「労働者農民」の組織を採用すべきであることを主張し、それによつて次の如き組織方針を述べてゐる。
- (ル) 「労働者大衆及び農民大衆の闘争同盟は、革命的農民聯盟(又は労働會)及び労働組合の代表者の注意を準備され且つ定期的に集會するところの、共同組織會及び大會に、その表現を見出し得る。一定の階級情勢のもとに於ては、労働者階級組織および農民階級組織の活動を整理、統制し、幾々の大衆行動等々を指導、遂行するとともに、革命的行動方針を作るのが今日目的である」と。
- (エ) 我黨に於ても、コミンタンの見解とは別個の理解からではあつたが、「労働者農民」の組織大會の直前から、労働黨に對する肯定的見解が顯露され、我々の組織も、「一時は、労働黨組織の活動を放棄し、「政治的自由階級同盟」として活動した。當時の労働問題は、だが、コミンタンが指定したやうな明確な組織

ることを目的として、労働者と農民とのX-Xの同盟を成立させるためのあらゆる必要なる前提條件が具はつてゐる。

「農民は土地を得んとする闘争に於て、たゞ労働者階級の指導下に於てのみ勝利を得ることが出来る。何卒の歴史を見てプロレタリアートに指導されない限り、農民階級は常に失墜すべく運命づけられてゐることがわかる。

「また、日本の如く、人口の過半が農民である國に於ては、プロレタリアートが農民から獨立する事は、最大の危険に孕んでをり、夫は、ブルジョアジーの手に最も有力なる武器を提供することになる。プロレタリアートと農民との同盟は何れの階級の利益から見ても絶対に不可缺である。」(コミンタンの日本問題に關するテーゼは、第六回大會以前に發表されたものであるから、やがて幾々な修正を経て、より正確なものとなつて表示されるに至ることと思ふがこゝに披瀝した範圍のことは、無論、政黨の餘地のない事情に關してゐる。)

(ニ) では、労働者階級と農民大衆との政治的連帯は如何にして成立されるか? そのためには、言ふまでもなく、労働者大衆と農民大衆との不平等の政治的連帯を知らねばならぬ。

(ホ) だが、労働者大衆と農民大衆とを固々の政治的連帯に結びつけることは不可能である。労働者と農民とは、個々の政治的連帯に於ては、決して共通點を持つてゐないから、固々の資本家地主に對しては、既成階級と、農民とを結合せしめ、」

「……特別な「労働黨」は現時に於ては、如何に政治的連帯をもちんことがあらうとも、それは如何にも容易に通常の小ブルジョア階級に陳化する。従つて抑がる政黨を組織することは得難くはない……」と。コミンタンのテーゼは、この労働黨の論議に關して、最も理想的な労働者農民のプロット組織としては、所謂「労働者農民」の組織を採用すべきであることを主張し、それによつて次の如き組織方針を述べてゐる。

(ル) 「労働者大衆及び農民大衆の闘争同盟は、革命的農民聯盟(又は労働會)及び労働組合の代表者の注意を準備され且つ定期的に集會するところの、共同組織會及び大會に、その表現を見出し得る。一定の階級情勢のもとに於ては、労働者階級組織および農民階級組織の活動を整理、統制し、幾々の大衆行動等々を指導、遂行するとともに、革命的行動方針を作るのが今日目的である」と。

(エ) 我黨に於ても、コミンタンの見解とは別個の理解からではあつたが、「労働者農民」の組織大會の直前から、労働黨に對する肯定的見解が顯露され、我々の組織も、「一時は、労働黨組織の活動を放棄し、「政治的自由階級同盟」として活動した。當時の労働問題

は、だが、コミンタンが指定したやうな明確な組織